

草津市市民まちづくり提案制度  
協働事業評価シート

【公開用】

■協働事業概要

事業名	多言語情報ウェブ“くさつ”事業
事業目的	「広報くさつ」を外国籍の人向けに、多言語化して提供することにより、一人でも多くの人に市政情報を得る機会を増やし、親しみやすいものとする。
実施形態	<u>委託事業</u> / 協定事業
実施(契約)期間	平成24年5月1日 ~ 平成25年3月31日 【 <u>継続事業</u> / <u>新規事業</u> 】
事業担当課	広報課
団体名	特定非営利活動法人 外国籍住民自立就労協会

■プロセス評価【公開】（実施後のみ）

- ※ 評価・・・1:よくできた 2:ある程度できた 3:あまりできなかった  
4:できなかった 5:該当しない  
※ 「5」を選択された場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

		評価欄		
		団体	市	
事業実施前	1	協働で事業を実施する目的を両者で確認しましたか。	1	1
	2	事業の成果目標を協議のうえ設定しましたか。	1	1
	3	具体的な企画内容や実施内容を協議のうえ決めましたか。	1	1
	4	事業を進めるための役割分担を協議のうえ決めましたか。	1	1
	5	成果物(著作物)の帰属や公表、また、その活用の方法について協議をしましたか。	2	1
事業実施段階	6	事業の進捗状況や必要な情報について共有できましたか。	1	1
	7	相手方の得意な分野や弱い分野を理解し、協力しあいながら事業を進めることができましたか。	1	1
	8	事業を進めるにあたり状況の変化に応じて、協議しながら柔軟な対応ができましたか。	1	1
	9	お互いの機能を生かし、必要に応じて市民への参画を呼びかけましたか。	2	2
事業成果や波及効果	10	事業の成果目標は達成できましたか。	1	2
	11	協働で事業推進することによって、単独で実施するよりも成果が上がりましたか。	1	2
	12	協働で事業推進することによって、組織にとって何か変化をもたらしましたか。	1	2
	13	事業の結果(成果)などを広く情報提供をしましたか。(予定がある場合も含む)	2	2
	14	市民自らが地域の課題解決に取り組む機運が芽生えるなど、従来よりも市民の参加機会が広がりましたか。	2	2
	15	経費の見積もりは適切でしたか。	1	2
	16	トラブルが発生した際の準備や対応は適切に行われましたか。	1	1

「5:該当しない」を選択された場合は、その理由を記入してください。

番号	理 由

■ 成果と今後への提案及び課題と改善のための提案

【団体】

成果があった点	さらにその成果を生かすための提案
広報くさつ記事をはじめ、庁内の翻訳物や、市民団体等の多言語情報をホームページへ一元的にまとめることができた。	広報にも力を入れ、より多くの人たちに活用してもらえる内容づくりを目指したい。
課題点	改善のための提案
どのようにすれば当事者ニーズをより把握できるか、また当事者の声に即した内容づくりを進めるにはどうしたらいいか、工夫を重ねる必要がある。	単なる情報発信にとどまらず、SNS も活用しながら、ホームページ読者同士が交流できる内容も盛り込んでいく。

【市】

成果があった点	さらにその成果を生かすための提案
自動翻訳とは異なり、質の高い翻訳を提供できた。	現在は子育て世代向けの情報が多いので、幅広い情報を掲載していく。
課題点	改善のための提案
多言語情報ウェブくさつのサイトは、行政情報だけでなく様々な情報を取り入れて外国籍住民の方のポータルサイトとなっていくべきである。	将来的に、様々な情報が掲載されている市から独立したサイトとして運営をしていく。市は広報等の情報提供を行う。